

新松戸中央総合病院



■経験豊富なドクターが内視鏡による腹腔鏡手術を行う。

その新松戸中央総合病院の治療の機能をさらに発展させるユニットが、この2月に誕生した。消化器内科と消化器外科を統合した76床の消化器病センターだ。

「このセンターでは、消化器内科の常勤医6人、消化器外科の常勤医5人をはじめ、4月から消化器内科のがん薬物担当医も加え、抗がん剤治療や超音波内視鏡による診断・

治療などを行っていきます。また、内科や外科という枠を取り払っているのが、ニューラルな視点で、患者にとってよりベストな治療を選択することができるといえるのが大きな特徴です」と、松尾亮太院長は説明する。



■消化器病学会認定消化器病専門医4名、その他、各学会の専門医が57名在籍しており、質の高い医療をめざす。

主な手術実績 (平成26年1月~12月)	
▼大腸癌	
結腸切除術(全切、半全切)・直腸切除術	24
直腸切除・切除術(全系)	12
腹腔鏡下結腸癌切除術	7
▼胃癌	
胃切除術(全胃切除)	14
胃切除術(部分切除)	14
内視鏡的胃・十二指腸ポリープ・粘膜下腫瘍切除術(早期癌・粘膜下腫瘍)	11
▼肝・胆・膵臓癌	
内視鏡的胆道スチント留置術	18
内視鏡的膵臓切除術(膵臓癌・膵炎)	11
▼痔症ヘルニア	
腹腔ヘルニア手術	93



HOSPITAL DATA

IMSグループ 医療法人財団 明理会
新松戸中央総合病院

千葉県松戸市新松戸1-380 TEL.047-345-1111
http://www.ims.gr.jp/ehinmatsuda/

- 診療時間 / 9:00~12:00, 14:00~17:00(但し土曜日は12:00まで)
- 休診日 / 日曜・祝日(但し急患に限り24時間体制)
- 診療科目 / 内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、血液内科、消化器・肝臓内科、神経内科、外科 / 脳神経外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、肛門外科、リウマチ科、眼科、泌尿器科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、麻酔科(随時救急)、放射線科
- 交通 / JR武蔵野線・常磐線新松戸駅、流鉄流山線幸谷駅から徒歩3分

内科・外科の枠を外し 消化器に特化した センターを開設



院長 松尾 亮太

まつお・りょうた / 医学博士、筑波大学卒業。日本外科学会認定外科専門医、日本消化器外科学会認定消化器外科専門医、日本肝臓学会認定肝臓専門医、日本消化器病学会認定消化器専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本医師会認定産業医、臨床研修指導医。

「大腸がんに限って言えば、今は7〜8割が腹腔鏡手術です。昨年は腹腔鏡手術の割合が2〜3割程度でしたから、劇的な変化ですね。患者さんも低侵襲の手術を希望されて遠方から来られています。消化器医療センターでは、消化器に関するさまざまな分野の専門医が揃っているため、検査から内視鏡治療、腹腔鏡治療、手術治療、血管造影による治療、ラジオ波による治

療、抗がん剤治療と、すべての治療が可能になる。「治療方法は患者さんの意向を加味します。例えば、患者さんが開腹手術を嫌がる場合は、内科的な治療を選ぶこともできます。外科と内科の間に壁がないので、そういった判断もとてもスムーズです」

「2014年度に病院機能評価の審査を受けましたが、結果は87項目中9つだけがBで、あとはすべてAでした。これには私も驚きましたが、スタッフ全員のモチベーションが上がったことは間違いないと思います。これからも、慎重かつ大胆に、より質の高い医療サービスを提供していきたいと思っています」と松尾院長。

2015年2月に消化器医療センターがオープン。多職種によるチーム医療で質の高い医療を提供

1979年の開院以来、地域の病院として親しまれてきた新松戸中央総合病院が、2013年にすべての病棟のリニューアルを終え、全333床の総合病院としてフルオープンした。この2月には、消化器病センターもスタート。施設の設備だけでなく、人員を強化し、患者満足度の高い医療サービスを提供する。2012年に院長に就任し、新体制下で指揮をとる松尾亮太院長に話をうかがった。



■血管造影検査を行うアンギオ室、フルオープンに伴い先進設備も導入した。

「そうすれば、おのずとスタッフ満足度は上がります。そしてそれは、必ず患者満足度につながります。スタッフの満足からスタートしていかなくては、問題は解決しないと思うんです」(松尾院長)

この数年で、同院の医療のクオリティは上がった。

「2014年度に病院機能評価の審査を受けましたが、結果は87項目中9つだけがBで、あとはすべてAでした。これには私も驚きましたが、スタッフ全員のモチベーションが上がったことは間違いないと思います。これからも、慎重かつ大胆に、より質の高い医療サービスを提供していきたいと思っています」と松尾院長。

「治療方法が揃っているため、検査から内視鏡治療、腹腔鏡治療、手術治療、血管造影による治療、ラジオ波による治療、抗がん剤治療と、すべての治療が可能になる。」

「治療方法は患者さんの意向を加味します。例えば、患者さんが開腹手術を嫌がる場合は、内科的な治療を選ぶこともできます。外科と内科の間に壁がないので、そういった判断もとてもスムーズです」

「2014年度に病院機能評価の審査を受けましたが、結果は87項目中9つだけがBで、あとはすべてAでした。これには私も驚きましたが、スタッフ全員のモチベーションが上がったことは間違いないと思います。これからも、慎重かつ大胆に、より質の高い医療サービスを提供していきたいと思っています」と松尾院長。

地域の病院として、親しみやすさと高い医療実績を兼ね備え、患者やその家族にとっては頼もしい病院になれるようにと松尾院長は改善に努める。

すべての職種が満足できる職場をプロとして

もうひとつ、松尾院長が取り組んでいるのがスタッフの教育だ。

「さまざまな職種のスタッフが同じステージに立ち、対等な立場で何でもモノを言えるような病院にしたいんです。すべての職種のスタッフが、